

## 平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月12日

上場会社名 アプライド株式会社  
 コード番号 3020 URL <http://www.applied-g.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 岡 義治  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画部長 (氏名) 坂井 雅実  
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 JQ

TEL 092-481-7801

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	24,476	—	138	—	261	—	122	—
20年3月期第3四半期	20,067	—	308	—	330	—	242	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	90.65	—
20年3月期第3四半期	179.60	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第3四半期	13,631	3,588	26.0	2,620.64		
20年3月期	12,640	3,558	27.8	2,600.13		

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 3,541百万円 20年3月期 3,513百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
21年3月期	—	30.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,320	18.2	240	△50.0	360	△29.4	182	13.0	134.66

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 一社(社名 ) 除外 一社(社名 )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
 [(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 [(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。]
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 1,351,600株 20年3月期 1,351,600株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 261株 20年3月期 201株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 1,351,377株 20年3月期第3四半期 1,351,505株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な金融危機の影響を受け、急速な円高と株安により、国内企業の業績が急激に悪化し、景気の大幅な減速が見られました。

当社グループの中心事業であるパソコン市場は、ウルトラモバイルPCなど低価格パソコンは好調に推移したものの単価下落が続いており、引き続き厳しい経営環境が続くと思われま

す。このような環境の中で、当社グループは、商品力の強化と質の高い技術・サービスの提供を通じ、競合他社との差別化を行い、顧客増大を推進いたしました。

事業別の具体的取組みと売上高につきましては、パソコン関連事業は、低価格パソコンの需要にあわせ、ブロードバンド獲得をセットし、利益額の確保に努めるとともにプライベートブランドPCの販売に注力いたしました。また、デジタル家電商品を強化し、特に大型液晶テレビの販売に注力しました。テレビゲームにおいては、アプライド店舗内へのインショップ（7店舗）とシータショップ（13店舗）の展開により、若年層の顧客層の取り込みを行っております。法人部門においては、16拠点において、グループ全体の商品・サービスの提案強化を図っております。こうした取り組みの結果、パソコン関連事業の売上高は、241億65百万円となりました。

業務受託関連事業においては、フリーペーパーの発刊や企画・広告代理業に注力し、売上高2億18百万円となりました。

出版・ブライダル関連事業においては、売上高1億94百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高244億76百万円（前年同期比122.0%）となったものの、急激な円高や株価の低迷に起因し、退職給付費用の増加、為替差損の増大などにより、営業利益1億38百万円（前年同期比45.0%）、経常利益2億61百万円（前年同期比79.0%）、四半期純利益1億22百万円（前年同期比50.5%）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ9億90百万円増加し136億31百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加9億12百万円によるものです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ9億61百万円増加し100億43百万円となりました。これは主に仕入債務の増加10億30百万円によるものです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ29百万円増加し35億88百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加41百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は26.0%となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第3四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、平成21年3月期通期の連結業績予想の見直しを行った結果、平成21年3月期通期連結業績予想を修正しております。なお、業績予想の具体的修正内容は、本日発表の「平成21年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
固定資産の減価償却費の算定方法  
定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の見積額を期間按分して算定する方法によっております。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
- ① 「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。
  - ② 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、原価法から原価法(収益性の低下による簿価切下げの方法)に変更しております。この結果、従来の方法によった場合に比べて、税金等調整前四半期純利益が8,806千円減少しております。
  - ③ 「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号)を早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。なお、リース取引開始日がリース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、引き続き通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を適用しております。なお、これによる損益に与える影響は軽微であります。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,322,635	1,912,483
受取手形及び売掛金	2,102,779	1,427,432
商品及び製品	3,744,156	2,834,761
仕掛品	2,523	1,198
原材料及び貯蔵品	28,431	26,404
その他	388,737	409,012
貸倒引当金	△24,761	△16,217
流動資産合計	7,564,502	6,595,076
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,695,309	3,715,951
減価償却累計額	△1,819,206	△1,732,840
建物及び構築物(純額)	1,876,103	1,983,110
土地	2,129,176	2,129,176
その他	726,533	604,473
減価償却累計額	△514,895	△509,572
その他(純額)	211,638	94,900
有形固定資産合計	4,216,918	4,207,188
無形固定資産		
のれん	12,476	13,940
その他	31,796	52,133
無形固定資産合計	44,272	66,073
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,378,018	1,447,427
その他	440,726	352,736
貸倒引当金	△13,297	△28,352
投資その他の資産合計	1,805,447	1,771,810
固定資産合計	6,066,639	6,045,072
資産合計	13,631,141	12,640,148

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,377,680	2,347,628
短期借入金	1,400,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	509,312	586,428
未払法人税等	10,825	121,379
賞与引当金	128,518	232,154
製品保証引当金	1,302	3,862
ポイント引当金	73,432	81,771
その他	971,519	787,960
流動負債合計	6,472,591	5,261,184
固定負債		
長期借入金	2,473,113	2,859,618
長期未払金	404,200	425,800
退職給付引当金	315,432	244,518
負ののれん	221,400	265,608
その他	156,331	25,221
固定負債合計	3,570,477	3,820,765
負債合計	10,043,068	9,081,950
純資産の部		
株主資本		
資本金	381,734	381,734
資本剰余金	403,678	403,678
利益剰余金	2,776,510	2,735,083
自己株式	△500	△425
株主資本合計	3,561,422	3,520,070
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△20,053	△6,257
評価・換算差額等合計	△20,053	△6,257
少数株主持分	46,704	44,385
純資産合計	3,588,073	3,558,198
負債純資産合計	13,631,141	12,640,148

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	24,476,340
売上原価	18,757,916
売上総利益	5,718,423
販売費及び一般管理費	
広告宣伝費	625,322
ポイント引当金繰入額	73,432
給料及び手当	1,475,326
賞与	194,092
賞与引当金繰入額	116,527
賃借料	763,429
その他	2,331,370
販売費及び一般管理費合計	5,579,501
営業利益	138,922
営業外収益	
受取利息	11,277
協賛金収入	50,719
受取補償金	50,000
負ののれん償却額	44,208
その他	42,662
営業外収益合計	198,867
営業外費用	
支払利息	64,500
その他	12,043
営業外費用合計	76,543
経常利益	261,246
特別損失	
固定資産除却損	16,944
たな卸資産評価損	8,806
特別損失合計	25,751
税金等調整前四半期純利益	235,495
法人税、住民税及び事業税	82,122
法人税等調整額	28,343
法人税等合計	110,466
少数株主利益	2,520
四半期純利益	122,508

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

(要約)前四半期連結損益計算書

(単位:千円)

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
	金額
I 売上高	20,067,071
II 売上原価	15,431,496
売上総利益	4,635,574
III 販売費及び一般管理費	4,326,710
営業利益	308,863
IV 営業外収益	95,669
V 営業外費用	73,702
経常利益	330,830
VI 特別利益	42,707
VII 特別損失	—
税金等調整前 四半期純利益	373,537
税金費用	128,033
少数株主利益	2,768
四半期純利益	242,735